

役員 2022年3月23日現在

■取締役

取締役 会長	岩井 睦雄
取締役 副会長	岡本 薫明
代表取締役 社長	寺島 正道
代表取締役 副社長	見浪 直博
代表取締役 副社長	廣渡 清栄
取締役 専務執行役員	山下 和人
取締役 役	幸田 真音*
取締役 役	長嶋由紀子*
取締役 役	木寺 昌人*
取締役 役	庄司 哲也*

※取締役 幸田 真音、長嶋 由紀子、木寺 昌人および庄司 哲也は、会社法第2条第15号に定める社外取締役です

■監査役

常勤監査役	永田 亮子
常勤監査役	山本 博
常勤監査役	三村 亨*
監査役	大林 宏*
監査役	吉國 浩二*

※常勤監査役 三村 亨、監査役 大林 宏および吉國 浩二は、会社法第2条第16号に定める社外監査役です

■執行役員

社長	(最高経営責任者 兼 たばこ事業本部長)	寺島 正道
社長	(財務・Corporate Communications 担当)	見浪 直博
副社長	(コーポレート・サステナビリティマネジメント・医薬事業・食品事業担当)	廣渡 清栄
専務執行役員	(コーポレートガバナンス・コンプライアンス担当)	山下 和人
専務執行役員	(国内たばこ事業 CEO)	福地 淳一
常務執行役員	(国内たばこ事業 CFO)	前田 勇気
常務執行役員	(国内たばこ事業 セールス担当)	清川 栄一
執行役員	(国内たばこ事業 渉外担当)	小倉 健資
執行役員	(国内たばこ事業 原料担当)	小川 千種
執行役員	(国内たばこ事業 RRPジャパンオフィスヘッド)	中島 康裕
執行役員	(国内たばこ事業 マーケティング担当)	廣末 秀一
執行役員	(国内たばこ事業 製造担当)	小柳 明弘
執行役員	(国内たばこ事業 パフォーマンス&インテグレーション担当)	Daniel Torras
執行役員	(医薬事業部長)	藤本 宗明
執行役員	(医薬事業部 医薬総合研究所長)	大川 滋紀
執行役員	(食品事業担当)	古川 博政
執行役員	(経営戦略担当)	中野 博恵
執行役員	(IT担当)	柴山 武久
執行役員	(Corporate Communications 担当)	福田 浩之
執行役員	(General Counsel)	廣瀬 修
執行役員	(Chief Sustainability Officer)	妹川 久人
執行役員	(Chief Financial Officer)	加藤 信也
執行役員	(People & Culture 担当)	見島 昌行

株主・投資家の皆様へ

# 業績報告書

vol.68



株価の推移 1994年10月27日上場～2022年1月 当社株価（東証終値、月間）



※2006年4月1日を効力発生日として1株につき5株の割合、また、2012年7月1日を効力発生日として1株につき200株の割合で株式分割を実施しました。株価は調整後株価を示しています

日本たばこ産業株式会社

〒105-6927 東京都港区虎ノ門4-1-1  
TEL 03-6636-2914 <https://www.jti.co.jp/>

2021年度実績および2022年度業績見込

JT NEWS

ひとの  
ときを、  
想う。 JT

# たばこ事業の成長により、前年度を大きく 新たな事業運営体制のもと、事業投資を通じて、

# 上回る実績 中長期に亘る持続的な成長を目指します

代表取締役社長

寺島正道



2021年度は世界経済が緩やかに回復傾向にあるものの、引き続きコロナ禍の影響を受けた不確実性の高い1年となりました。このような状況の中、社会機能の維持にご尽力いただいている世界中の関係者の方々、ご協力くださっている取引先の皆様、事業継続に取り組んでいる全従業員に改めて感謝いたします。

## 2021年度 実績

2021年度、全社利益指標である為替一定ベース調整後営業利益、すなわち為替影響や特殊要因を除いた営業利益は、年間を通じてたばこ事業が牽引し、特に過去最高の販売数量を記録した海外たばこ事業が大きく貢献し、前年度比22.9%の増加となりました。また、為替影響を含む財務報告ベースの調整後営業利益につきましては、ポジティブな為替影響を背景として、前年度比25.4%の増益となりました。

当期利益は、営業利益の増益および金融損益の改善により、前年度比9.1%の増益となりました。

## 2022年度 業績見込および経営計画2022

2022年度業績見込について、為替一定ベース調整後営業利益は、医薬事業および加工食品事業の減少はあるものの、たばこ事業の増加により、前年度比4.0%増の成長を見込んでおります。財務報告ベースの調整後営業利益は、たばこ事業におけるネガティブな為替影響はあるものの、前年度比0.1%の増益を見込んでおります。当期利益は、金融損益の悪化を見込むものの、2021年度に計上したたばこ事業運営体制強化施策費用の剥落等を主因として営業利益が増益となることから、前年度比5.2%の増益を見込んでおります。

今般策定した経営計画2022においても、中長期にわたる持続的な利益成長を追求し、為替一定調整後営業利益の年平均mid to high single digit（一桁台後半の）成長の実現を目指していくことに変わりはありません。成長に向け、最も重要となるのが、RRP\*カテゴリにおけるプレゼンスの拡大です。この目標の達成に向けて事業投資を優先するものの、今般経営計画期間中においても、為替一定調整後営業利益のmid single digit（一桁台半ばの）成長は実現できる見通しです。

コロナ禍によるたばこ事業への影響については、中期的には大きな影響は見込んでおりませんが、各国政府の財源確保を企図した増税や更なる規制の進展・複雑化等、今後の事業環境の変化には注視が必要であると考えております。

このような環境下においても、たばこ事業の、「JTグループの利益成長の中核かつ牽引役」という役割に変更はありません。HTS\*\*とcombustibles\*\*\*を最重要カテゴリとし、トップラインの成長と収益性の改善に向けて経営資源を集中的に投入していきます。

たばこ産業全体を中期で見ると、HTSカテゴリは2027年末までに15%から20%程度にまで拡大する見通しです。このような環境下において、2027年末までにJTグループのkey HTS marketsである日本、ロシア、英国、イタリアにおけるHTSカテゴリシェアを10%台半ばまで拡大させていくとともに、グローバル市場（既存の展開市場および現時点で展開を計画している市場）において、RRPビジネスの黒字化を目指してまいります。

また、医薬事業については、「次世代戦略品の研究開発および各製品の価値最大化」、加工食品事業については、「質の高いトップライン獲得による持続的利益成長」を通じて、引き続きグループの利益成長を補完するという役割を果たしてまいります。

## 日本市場における「Ploom X」の取り組みおよび実績

JTグループ初のグローバルモデルである、次世代の加熱式たばこデバイス「プルーム・エックス (Ploom X)」は、メビウスおよびキャメルブランドで複数の銘柄を投入し、リフィルラインアップを拡充してまいりました。また、ブランドロイヤリティの醸成を目的とし、ウェブサービス「Ploom X CLUB」を中心としたデジタルマーケティングも実施しております。

これらの取り組みを通して、2021年12月末時点で、「プ

ルーム・エックス」のデバイス販売台数は計画を上回る100万台を突破し、RRPカテゴリにおける当社のRRPトータルシェアは11.8%まで伸長いたしました。

## 脱炭素社会構築に向けたコミットメント

サステナビリティへの取り組みは、当社の経営理念である「4Sモデル」の追求と非常に親和性が高く、重要であると考えています。特に気候変動は世界における喫緊の課題であり、脱炭素社会の構築に貢献するため、2030年までにJTグループの事業においてカーボンニュートラルを実現し、2050年までにバリューチェーン全体で温室効果ガス排出量ネットゼロ実現に向け、取り組みをより一層強化・拡大してまいります。

## 株主還元

2021年2月にお示ししたとおり、資本市場における競争力ある水準として、配当性向75%を目安とし、強固な財務基盤を維持しつつ、中長期の利益成長を実現することにより、株主還元の向上を目指してまいります。

株主還元方針に則り、2021年度の配当金は、配当性向73.4%となる1株当たり140円をお支払いいたします。また、2022年度の配当金予想は、配当性向74.8%となる1株当たり150円を予定しております。

\*RRP (Reduced-Risk Products)：加熱式たばこおよびE-Vapor製品等、喫煙に伴う健康リスクを低減させる可能性のある製品  
\*\*HTS (Heated tobacco sticks)：高温加熱型の加熱式たばこ  
\*\*\*combustibles：製造受託/水たばこ/加熱式たばこ/無煙たばこ/E-Vaporを除く燃焼性のたばこ製品

## 2021年度 全社実績

	2020年度実績 (2020年1-12月)	2021年度実績 (2021年1-12月)	対前年増減率
<b>為替一定ベース 調整後営業利益*1</b>	4,870	5,984	+22.9%
<b>財務報告ベース</b>			
売上収益	20,926	23,248	+11.1%
調整後営業利益*2	4,870	6,104	+25.4%
営業利益	4,691	4,990	+6.4%
当期利益*3	3,103	3,385	+9.1%

\*1 海外たばこ事業における当期の調整後営業利益から、前年同期の為替レートをを用いて換算・算出した為替影響を除いた指標

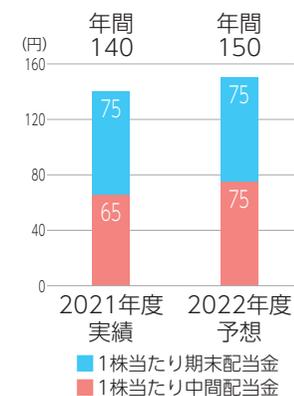
\*2 調整後営業利益=営業利益+買収に伴い生じた無形資産に係る償却費+調整項目(収益および費用)\*  
\*調整項目(収益および費用)= のれんの減損損失+リストラックチャリング収益および費用等

\*3 親会社の所有者に帰属する当期利益

## 2022年度 全社見込

(単位：億円)			
2021年度実績 (2021年1-12月)	2022年度見込 (2022年1-12月)	対前年増減	対前年増減率
6,104	6,350	+246	+4.0%
23,248	23,150	-98	-0.4%
6,104	6,110	+6	+0.1%
4,990	5,340	+350	+7.0%
3,385	3,560	+175	+5.2%

## 1株当たり配当金



# 国内たばこ事業

## 今期のポイント

- Combustible販売数量※1は、趨勢減に加え、RRPカテゴリの拡大および定価改定等の影響により減少
- Combustible単価上昇効果およびRRP関連売上収益の増加等により増収増益

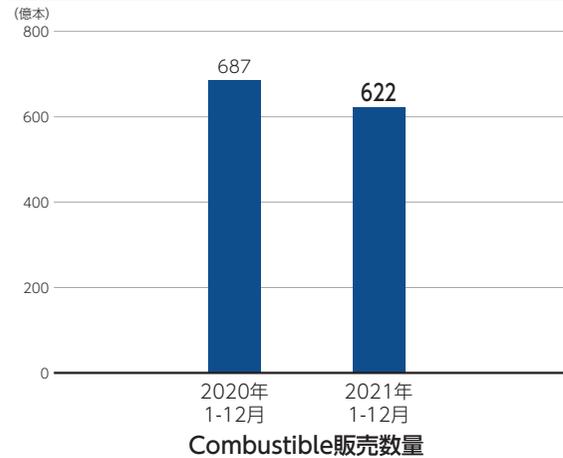
### 業績サマリー



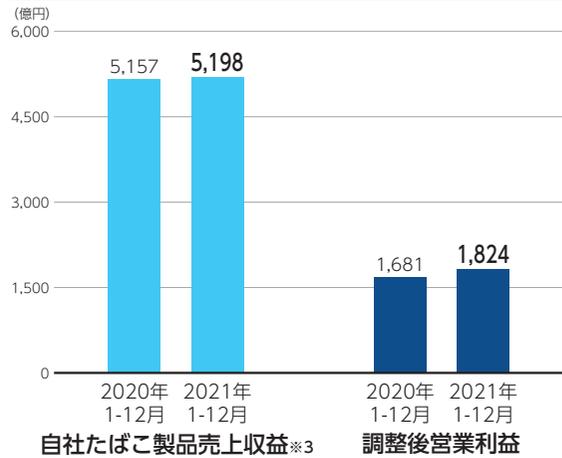
### Combustibleシェア※2/注カブランドシェア

	2020年 1-12月	2021年 1-12月	増減%pt
JT	59.8%	59.1%	-0.7%pt
MEVIUS	28.6%	27.5%	-1.1%pt
Winston	7.2%	7.0%	-0.2%pt
SevenStars	7.4%	7.3%	-0.1%pt
AMERICAN SPIRIT	2.0%	2.1%	+0.1%pt

### 販売数量実績



### 財務実績



※1 製造受託/水たばこ/加熱式たばこ/無煙たばこ/E-Vaporを除く可燃性のたばこ製品販売数量。国内免税販売および中国事業の販売分は含まない。  
 ※2 製造受託/水たばこ/加熱式たばこ/無煙たばこ/E-Vaporを除く可燃性のたばこ製品を含む

※3 輸入たばこ配送手数料収益等を除き、国内免税販売/中国事業/RRP、リトルシガー関連の売上を含む

# 海外たばこ事業

## 今期のポイント

- 市場シェアの伸長により総販売数量が増加したことに加え、一部主要市場等で発現した単価差および数量差影響により、為替一定ベースで売上収益・調整後営業利益が増加
- 財務報告ベースの調整後営業利益についても、現地通貨対米ドル、米ドル対円ともに為替影響がポジティブに作用したことにより増益

### 業績サマリー

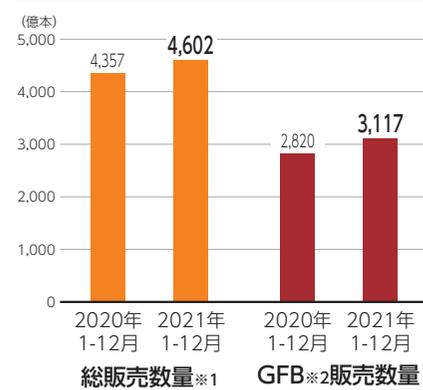


### 主要市場シェア (12ヵ月移動平均)

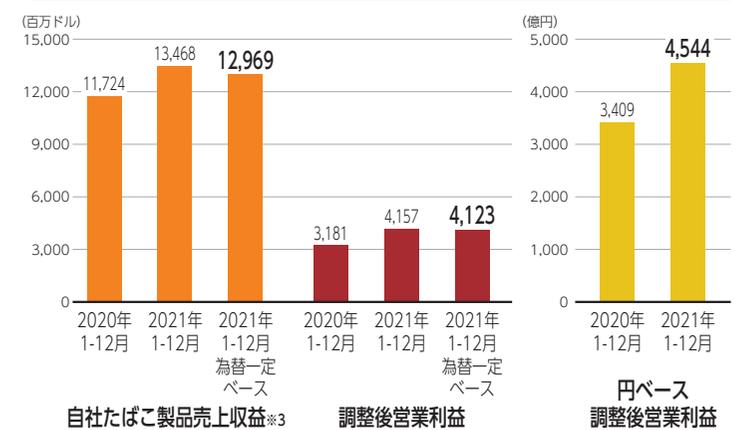
	2020年 12月	2021年 12月	増減%pt
フランス	27.1%	28.9%	+1.8%pt
イタリア	25.7%	26.7%	+0.9%pt
ロシア*	36.3%	36.7%	+0.4%pt
スペイン	26.7%	27.8%	+1.1%pt
台湾	47.8%	48.1%	+0.3%pt
トルコ	26.6%	27.7%	+1.1%pt
英国	45.0%	45.8%	+0.8%pt

Source: IRI, Nielsen, Logista, Panel Strator / 出典の過去データ修正も反映  
 \*2021年Q1より、ロシアにおける市場シェアは、combustiblesおよびheated tobacco sticksを含む。これに伴い、2020年データについても変更

### 販売数量実績



### 財務実績

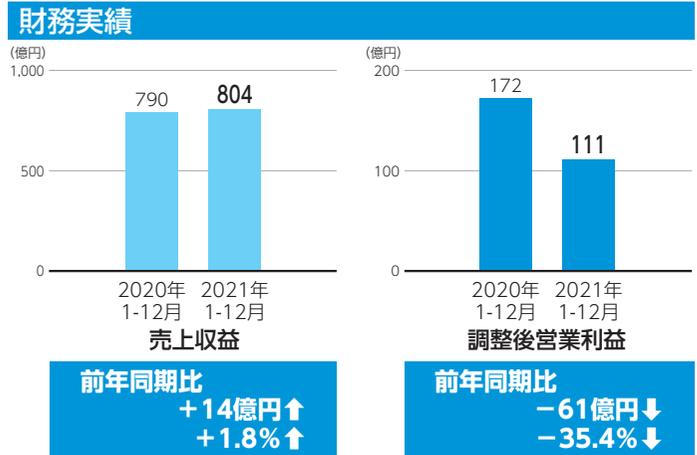


※1 水たばこ/E-Vapor製品/製造受託を除き、Fine Cut/Cigar/Pipe/Snus/Kretek/加熱式たばこを含む  
 ※2 グローバル・フラッグシップ・ブランド。当社グループのブランドポートフォリオの中核を担う「ウィンストン」「キャメル」「メビウス」「ILD」の4ブランドを指す

※3 物流事業/製造受託等を除き、水たばこ/RRPの売上を含む

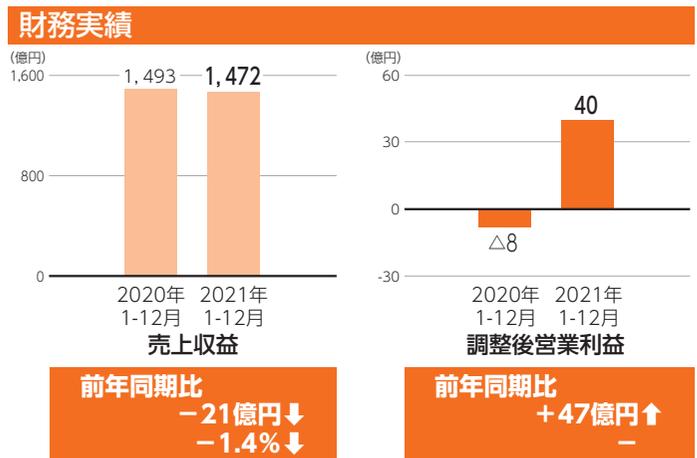
## 医薬事業

- 今期のポイント**
- 売上収益は、鳥居薬品の増収が海外ロイヤリティ収入の減収を上回り増収
  - 調整後営業利益は、研究開発費および鳥居薬品における販管費の増加により減益



## 加工食品事業

- 今期のポイント**
- 売上収益は、前年において一時的に増加した冷蔵・常温事業における家庭用製品の売上が相対的に減少したこと等により減収
  - 調整後営業利益は、販管費等の低減に加え、前年に計上したペーカリー事業における減損損失の剥落により増益



### 将来に関する記述等についてのご注意

本資料には、当社又は当社グループの業績に関連して将来に関する記述を含んでおります。かかる将来に関する記述は、「考えています」「見込んでいます」「予想しています」「予見しています」「計画」「戦略」「可能性」等の語句や、将来の事業活動、業績、事象又は条件を表す同様の語句を含むことがあります。将来に関する記述は、現在入手できる情報に基づく経営者の判断、予測、期待、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。これらの記述ないし事実又は前提(仮定)については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もなく、当社としてその実現を約束する趣旨のものでもありません。また、かかる将来に関する記述は、さまざまリスクや不確実性に晒されており、実際の業績は、将来に関する記述における見込みと大きく異なる場合があります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げることができます(なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません)。

- ①喫煙に関する健康上の懸念の増大
- ②たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更(増税、たばこ製品の販売、国産葉たばこの買入れ義務、包装、ラベル、マーケティング及び使用に関する政府の規制等)、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
- ③国内外の訴訟の動向
- ④たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- ⑤国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- ⑥市場における他社との競争激化、お客様の嗜好・行動の変化及び需要の減少
- ⑦買収やビジネスの多角化に伴う影響
- ⑧国内外の経済状況
- ⑨為替変動及び原材料費の変動
- ⑩自然災害及び不測の事態等

## 連結財務諸表

(注)記載金額は、百万円未満を四捨五入して表示しております

### 連結財政状態計算書

(単位:百万円)

科目	2020年 12月末	2021年 12月末	増減金額
資産			
流動資産合計	2,003,919	2,321,289	317,370
非流動資産合計	3,377,464	3,452,920	75,456
有形固定資産	759,290	755,843	△3,447
のれん	1,909,392	2,060,965	151,573
無形資産	363,604	307,152	△56,452
投資不動産	4,744	4,985	241
退職給付に係る資産	70,528	53,177	△17,351
持分法で会計処理されている投資	40,230	41,721	1,491
その他の金融資産	107,143	108,658	1,515
繰延税金資産	122,534	120,419	△2,115
資産合計	5,381,382	5,774,209	392,827

(単位:百万円)

科目	2020年 12月末	2021年 12月末	増減金額
負債及び資本			
負債			
流動負債合計	1,323,793	1,500,326	176,533
非流動負債合計	1,458,095	1,387,803	△70,292
負債合計	2,781,888	2,888,128	106,240
資本			
親会社の所有者に帰属する持分	2,522,834	2,809,258	286,424
資本金	100,000	100,000	—
資本剰余金	736,400	736,400	—
自己株式	△491,507	△490,899	608
その他の資本の構成要素	△605,776	△400,086	205,690
利益剰余金	2,783,718	2,863,843	80,126
非支配持分	76,660	76,823	162
資本合計	2,599,495	2,886,081	286,586
負債及び資本合計	5,381,382	5,774,209	392,827

## 連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	2020年 1-12月	2021年 1-12月	増減金額
売上収益	2,092,561	2,324,838	232,277
売上原価	△898,001	△956,861	△58,860
売上総利益	1,194,560	1,367,976	173,417
その他の営業収益	54,924	15,622	△39,303
持分法による投資利益	4,042	3,997	△44
販売費及び一般管理費等	△784,472	△888,574	△104,102
調整後営業利益※	486,952	610,434	123,483
営業利益	469,054	499,021	29,968
金融収益	12,353	19,013	6,660
金融費用	△61,344	△45,645	15,699
税引前利益	420,063	472,390	52,327
法人所得税費用	△108,034	△132,208	△24,175
当期利益	312,029	340,181	28,152
当期利益の帰属			
親会社の所有者	310,253	338,490	28,236
非支配持分	1,775	1,691	△84
当期利益	312,029	340,181	28,152

※調整後営業利益＝営業利益＋買収に伴い生じた無形資産に係る償却費＋調整項目(収益及び費用)\*

\*調整項目(収益及び費用)＝のれんの減損損失±ストラクチャリング収益および費用等

## 連結包括利益計算書

(単位：百万円)

科目	2020年 1-12月	2021年 1-12月	増減金額
当期利益	312,029	340,181	28,152
税引後その他の包括利益	△179,145	200,077	379,223
当期包括利益	132,883	540,258	407,375
当期包括利益の帰属			
親会社の所有者	131,965	538,206	406,241
非支配持分	919	2,052	1,134
当期包括利益	132,883	540,258	407,375

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	2020年 1-12月	2021年 1-12月	増減金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	519,833	598,909	79,075
投資活動によるキャッシュ・フロー	5,354	△97,499	△102,854
財務活動によるキャッシュ・フロー	△297,404	△353,138	△55,734
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	227,784	148,271	△79,512
現金及び現金同等物の期首残高	357,158	538,844	181,686
現金及び現金同等物に係る為替変動による影響	△46,098	34,616	80,714
現金及び現金同等物の期末残高	538,844	721,731	182,888

## JT NEWS

### たばこ新商品紹介

## 低温加熱型「プルーム・テック・プラス」の ストレートタイプがバージョンアップ



JTは、低温加熱型の加熱式たばこ用デバイス「プルーム・テック・プラス」のストレートタイプをバージョンアップした「プルーム・テック・プラス・1.5」を、2022年1月18日より、CLUB JTオンラインショップにて販売しています。

「プルーム・テック・プラス・1.5」は、味・香りはそのままに、さらにお使いいただきやすいようバージョンアップしました。旧バージョンと比較して、

部品の組み立てやリキッドの交換がより簡単になり、フル充電時間も約90分から約60分\*に短縮しました。

お客様のインテリアに馴染みやすい5色を展開し、お客様の好みに合わせてお選びいただける商品です。

JTは、お客様の多様なニーズにお応えし、これまで以上にご満足いただける商品の提供、サービスの向上を目指してまいります。

\*バッテリーの劣化や環境温度により充電時間は増減する可能性があります

※ このページは株主の皆様様に事業を説明する目的で作成されたものです。お客様へのたばこの販売促進もしくは喫煙を促す目的ではありません

加工食品新商品紹介

お皿がいらない  
上海炒麺

レンジ調理 1食入 296g



中国醤油やオイスターソースを使った深みのあるソースが味わいの上海炒麺です。もやし、たけのこ、豚肉、ほうれん草、赤ピーマン、きくらげの6種の具材と、もちもち食感の中華麺を使用しています。



丹念仕込み  
やわもちうどん 3食

レンジ調理 鍋調理 3食入 540g

厳選した国産小麦粉を使用し、「綾・熟成法」で丹念に仕込んだうどんは、滑らかでもちもちの食感が特長です。

新潟県産大粒ごはん 3食

レンジ調理 熱湯調理 180g×3食

米どころ新潟で収穫された大粒の銘柄米「みずほの輝き」「つきあかり」「新之助」を厳選し、テーブルマーク独自の配合でブレンド。米どころ魚沼の自然に育まれた水で外はふっくら、中はもっちり炊きあげました。



## 世界的なESG株価指数である 「Dow Jones Sustainability Asia Pacific Index」の 構成銘柄に8年連続で選定

JTは、世界的なESG株価指数である「Dow Jones Sustainability Asia Pacific Index」の構成銘柄に、8年連続で選定されました。本指数は、企業の持続可能性（サステナビリティ）を経済、環境、社会の3つの側面から評価する国際的なESG株価指数として運用されています。

DJSI選定基準のCSA（コーポレートサステナビリティ評価）は、ESG各分野における最新の動向や議論を踏まえた、総合的な調査です。国際的かつ信頼性の高い外部調査に参加することは、当社のサステナビリティへの取り組みと開示を客観的に評価する機会を得ることにつながります。透明性、信頼性の高い非財務情報の開示の推進は、当社が力を入れていることであり、ステークホルダーの皆様との対話を促進するために重要な取り組みです。

8年連続の選定は、バリューチェーンを横断する社会および環境課題へ真摯に取り組んできた結果が高く評価されたものと考えています。当社グループが持続的に成長するためには、事業活動を通じて社会の持続可能な発展に貢献していくことが不可欠です。今後もステークホルダーの皆様との対話を通じて、社会と当社グループがともに持続的に成長できるよう、取り組みを着実に進めてまいります。

Member of  
**Dow Jones  
Sustainability Indices**  
Powered by the S&P Global CSA

## LGBT+に関する取り組みを評価する 「PRIDE指標2021」において 6年連続で最高位『ゴールド』を受賞

JTは、2021年11月、「work with Pride」が主催する「PRIDE指標2021」において、最高位の「ゴールド」を6年連続で受賞いたしました。

これまでJTは、社内のイントラネット上でのLGBT+に関する情報ページの常設などを通じた意識啓発や、「パートナーシップ認定制度」導入などの社内制度の見直しを含め、多様な価値観を認め合える風土づくりを行ってきました。また、拠点においても、全国各地において開催されるLGBT+イベントへの参加など、本社主導だけではなく、自主的な取り組みを行うフェーズに発展しています。

JTでは、性別、性自認、性的指向や年齢、国籍だけではなく、経験、専門性など、異なる背景や価値観を尊重し、違いに価値を見出すことが、会社の持続的な成長につながると考えており、今後も多様な人財のさらなる活躍を推進してまいります。

work with Pride



## 第37回定時株主総会決議のご報告

第37回定時株主総会の決議事項について、第1号～第6号議案はいずれも原案どおり承認可決されました。

### 決議事項

#### 第1号議案 剰余金の処分の件

本件は、原案どおり承認可決され、期末配当金は1株につき、75円と決定いたしました。

#### 第2号議案 定款一部変更の件①

本件は、原案どおり承認可決され、取締役の任期を2年から1年に変更いたしました。

#### 第3号議案 定款一部変更の件②

本件は、原案どおり承認可決され、場所の定めのない株主総会を開催できる旨の所要の変更を行いました。

#### 第4号議案 定款一部変更の件③

本件は、原案どおり承認可決され、株主総会参考資料等の電子提供措置の導入に伴う所要の変更を行いました。

#### 第5号議案 取締役10名選任の件

本件は、原案どおり取締役に岩井睦雄、岡本薫明、寺島正道、見浪直博、廣渡清栄、山下和人、幸田真音、長嶋由紀子、木寺昌人、庄司哲也の10氏が選任され、就任いたしました。

#### 第6号議案 社外取締役の報酬額改定の件

本件は、原案どおり承認可決され、取締役の金銭報酬に係る報酬額（年額11億円以内）は変更せずに社外取締役分の報酬額のみを増額し、年額8千万円以内から年額1億円以内に改定することを決定いたしました。

以上

### 付記

- 前記第1号議案、第2号議案、第3号議案、第4号議案及び第5号議案の決議は、2022年3月23日付をもって日本たばこ産業株式会社法による財務大臣の認可を受けました。
- 本定時株主総会終了後の取締役会において、代表取締役及び役付取締役が次のとおり選定され、就任いたしました。

取締役会長	岩井睦雄
取締役副会長	岡本薫明
代表取締役社長	寺島正道
代表取締役副社長	見浪直博
代表取締役副社長	廣渡清栄

## 株主総会における新たな取り組み

### 「インターネットによる事前ご質問の受付」のご紹介



第37回定時株主総会の目的事項につきまして、当社ライブ配信用ウェブサイト上で、株主様からの事前ご質問の受付を実施し、ご質問の一部について、総会当日に回答いたしました。

今後とも、さまざまな取り組みを通じて、当社経営や事業へのご理解を賜るべく努めてまいりますので、引き続きご支援のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

## 株主優待制度に関するお知らせ

### 株主優待制度の廃止について

当社は、株主の皆様当社グループ商品のご利用を通じて、当社グループの事業をより一層ご理解いただくことを目的に、2004年より株主優待制度を実施してまいりました。

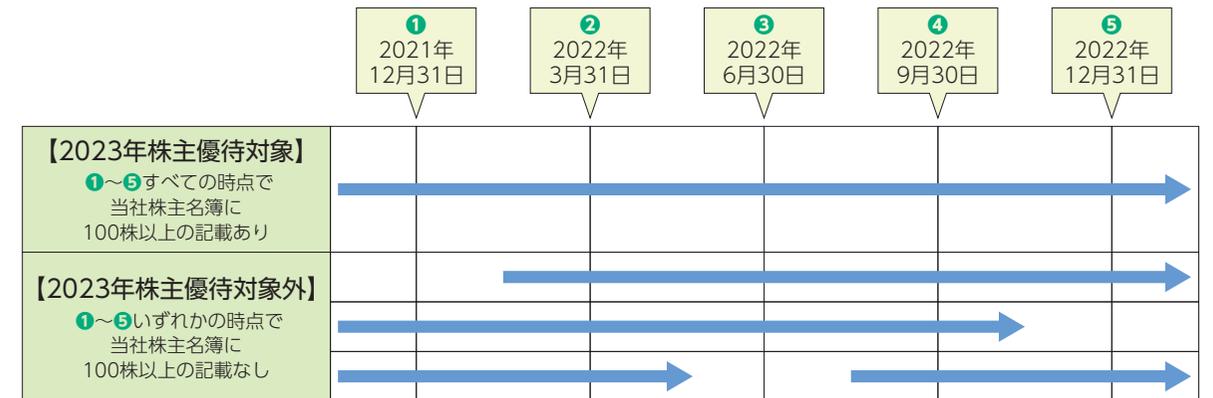
しかしながら、この度、株主の皆様への公平な利益還元のある方という観点から慎重に検討を重ねました結果、配当等による利益還元に集約することとし、株主優待制度を廃止することといたしました。

当社では、今後も株主の皆様への利益還元を重要な経営課題と位置づけ、企業価値の向上に取り組んでまいります。株主の皆様におかれましては、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

**次回(2023年)の株主優待商品の発送をもって、株主優待制度を廃止させていただきます。  
2024年以降の株主優待商品の発送はございません。**

次回(2023年)の株主優待は、2022年12月31日現在の当社株主名簿において、100株(1単元)以上を1年以上継続保有されている株主様が対象となります。

1年以上継続保有とは、同一株主番号で、3月31日現在、6月30日現在、9月30日現在および12月31日現在の株主名簿に、連続して5回以上記載または記録されていることが条件となります。



### 期限までにお申し込みのない株主の皆様への優待商品発送の取りやめについて

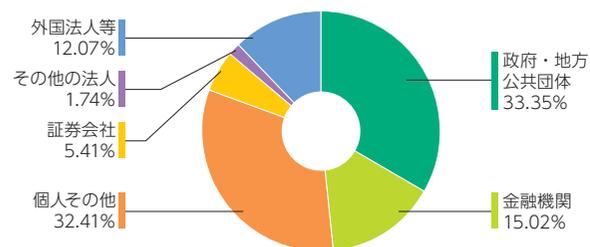
例年、お申し込み期限を過ぎて「株主様ご優待申込書(ハガキ)」が到着した場合や、お申し込みがなかった株主の皆様に対しましても、当社指定の優待商品をお届けしてまいりましたが、本対応を取りやめることにいたしました。優待商品をご希望の方は、2022年4月1日必着となりますので、「株主様ご優待申込書(ハガキ)」をお早めにご投函ください。

## 会社概要

商号 日本たばこ産業株式会社 設立 1985年(昭和60年)4月1日  
 本社所在地 〒105-6927 東京都港区虎ノ門四丁目1番1号 資本金 1,000億円  
 TEL.(03)6636-2914(代表)  
<https://www.jti.co.jp/>

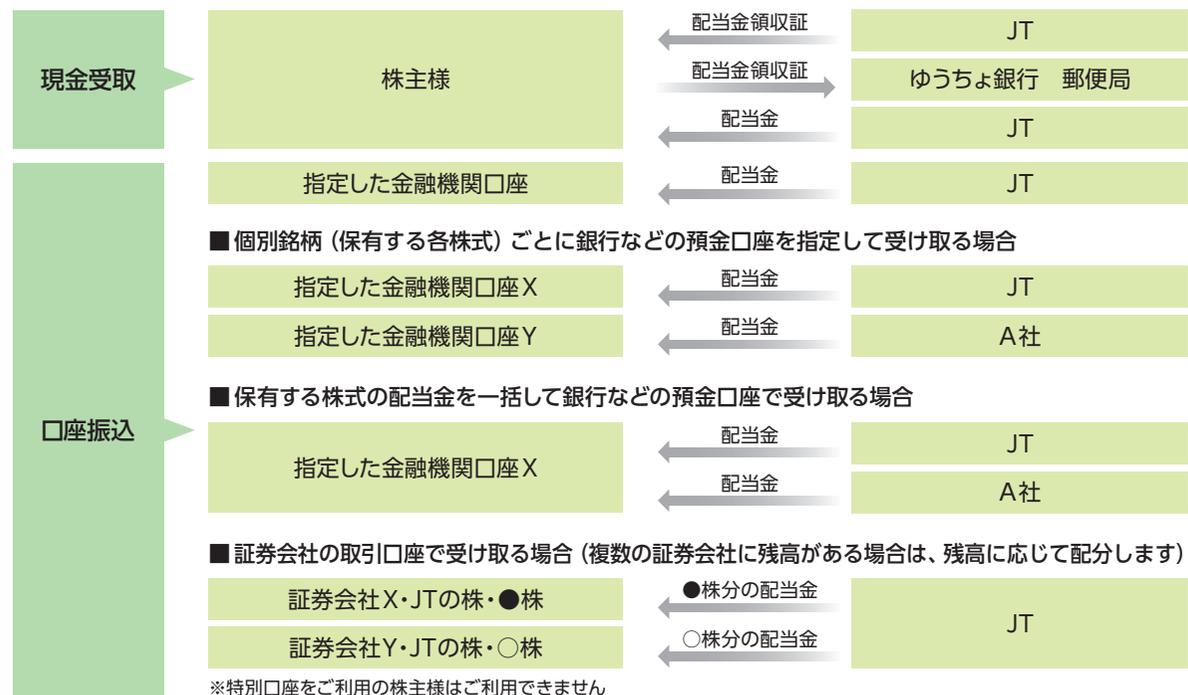
## 株式の状況 2021年12月31日現在

### 所有者別構成比



発行可能株式総数 8,000,000,000株  
 発行済株式の総数 2,000,000,000株  
 (自己株式 225,475,301株)  
 株主数 691,779名

## 配当金のお受け取り方法 口座振込をご選択いただきますと安全かつ確実に配当金をお受け取りいただけます

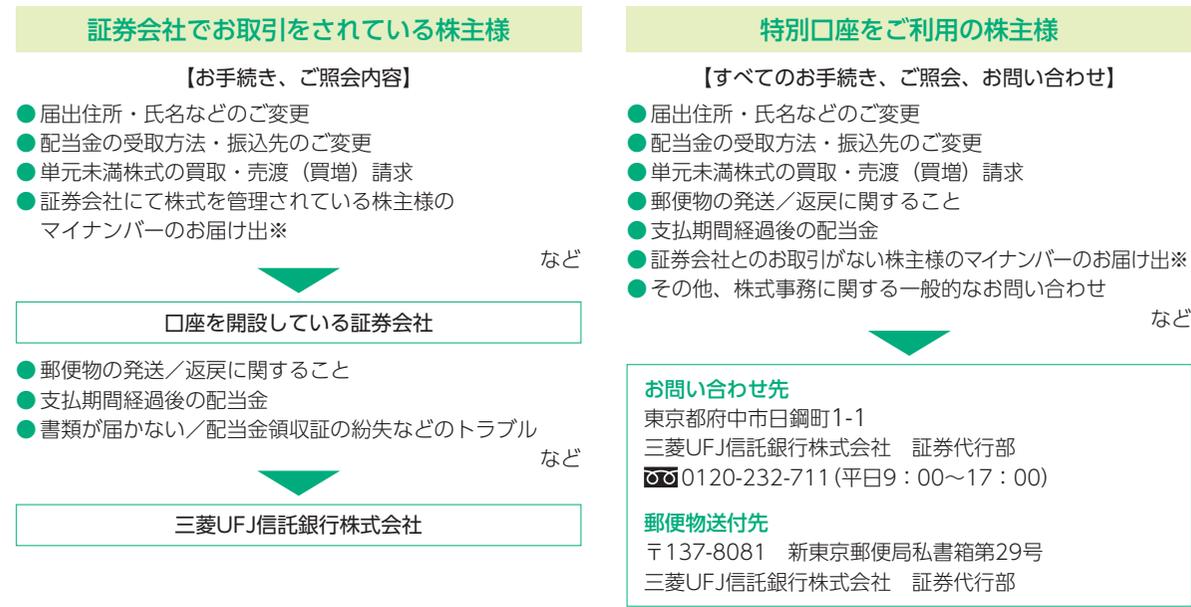


## 株主メモ

決算期 12月31日 定時株主総会 3月  
 期末配当金支払株主確定日 12月31日 中間配当金支払株主確定日 6月30日 1単元の株式数 100株  
 公告の方法 電子公告  
 当社ホームページ (<https://www.jti.co.jp/>) に掲載  
 ※やむを得ない事由により、電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載

株主名簿管理人・特別口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社  
**■ 事務取扱場所**  
 東京都千代田区丸の内1-4-5  
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
**■ お問い合わせ先**  
 東京都府中市日鋼町1-1  
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
 ☎0120-232-711 (平日9:00~17:00)  
**■ 郵便物送付先**  
 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号  
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

## 株式の諸手続きについて



※市区町村から通知されたマイナンバーは株式の税務関係の手続きで必要となりますので、株主様におかれましては、お取引のある証券会社などへマイナンバーをお届けください